

【児童への話】

今週の金曜日、土曜日は、いよいよ音楽会ですね。皆さんの精一杯頑張る姿を、校長先生はとても楽しみにしていますし、お家の方もそうだと思います。音楽会当日は、皆さんの一番ステキな姿を観せられるよう、体調管理にも気を付けて過ごしてください。

さて今日は、「リンカーンの失敗から学ぶこと」についてお話します。

皆さんは、アメリカの第 16 代大統領、エイブラハム・リンカーンを知っていますか？リンカーンは、自分で一生懸命勉強して弁護士になり、議員の仕事を経て、今から 164 年前にアメリカの大統領になりました。奴隷として扱われていた人々を解放し、「人民の人民による人民のための政治」という有名な言葉を残したリンカーンは、今もなお、「史上最高の大統領」と言われ、親しまれている人です。

そのような素晴らしい大統領だったリンカーンでも、実は、自分のしたことで命が危なくなることがあります。リンカーンは若い頃、人を非難することが好きで、ある人の欠点をあざ笑う文章を新聞社に送ったことがあります。その人はとっても怒り、リンカーンに決闘を申し込みました。サーベルという剣による決闘です。リンカーンは、剣を扱ったことはありませんでしたが、自分のしたことが原因ですので、決闘しなくてはならなくなりました。決闘の当日、それぞれの友だちが間に入り、決闘はなくなりましたが、さすがのリンカーンも肝を冷やした出来事でした。そしてそれ以来、どんなことがあっても、人を非難したりバカにしたりすることはしなかったそうです。

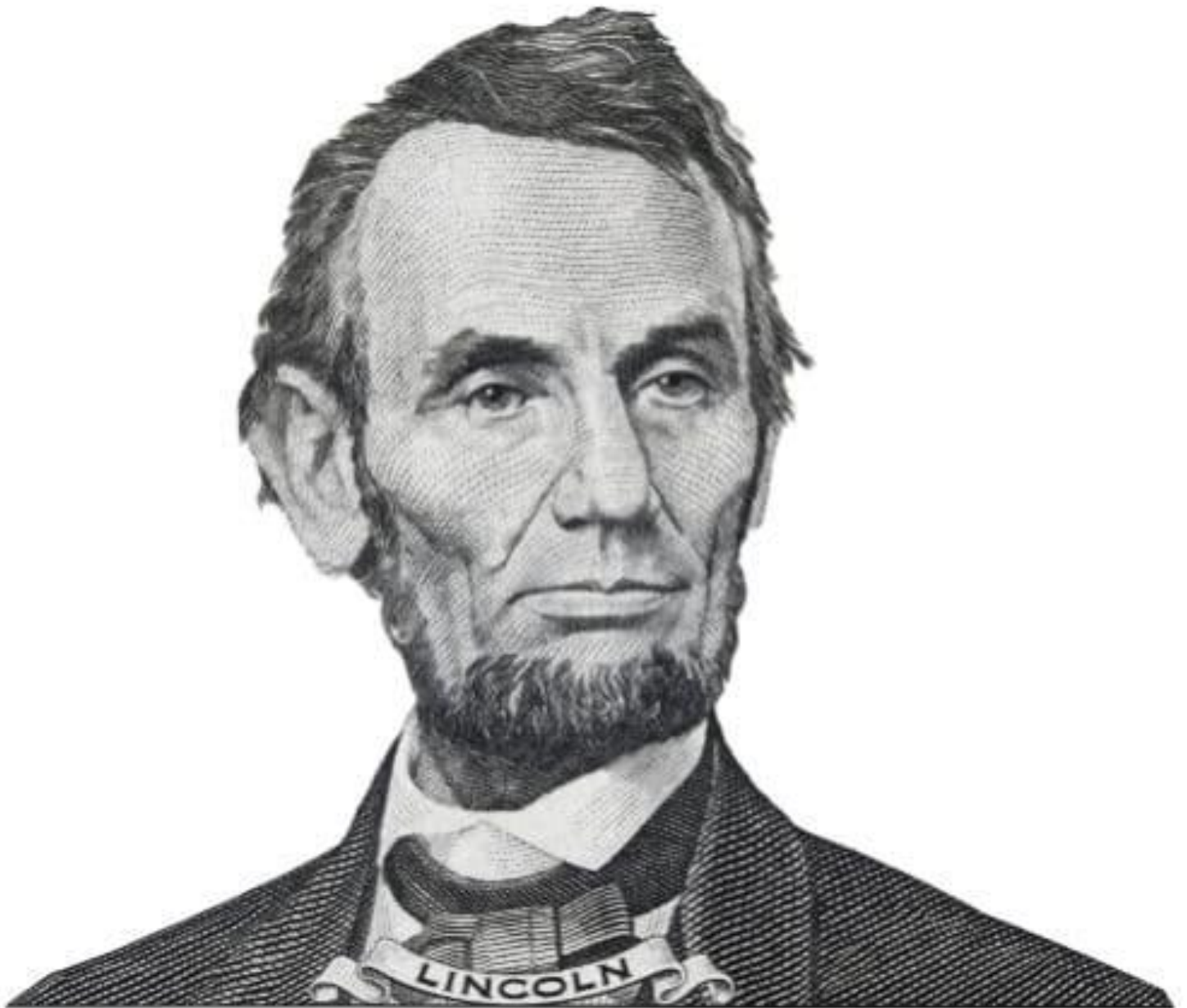
校長先生は、最近、友だちとケンカになった人の話をよく聞きます。そのケンカは、友だちがイヤだと思ってしまうことや、互いにかかったりバカにしたりしてしまったりすることがきっかけになっていることが多いんです。自分のことを悪く言われたり、嫌なことをされたりして、嬉しい人はいません。私たちは、自分がしたいことだけではなく、その人や周りの人の気持ちを考え、言葉や行動をグッとガマンすることが大切です。これが当たり前にできないと、これから先、社会に出て困るのは自分自身です。校長先生が大好きな落五小の皆さんは、お友だちとの気持ちよい付き合い方を考え、仲良く楽しく、安全に生活できるようになって欲しいと思います。

今日は、「リンカーンの失敗から学ぶこと」についてお話ししました。

【本講話について】

いよいよ音楽会の週となりました。音楽会の楽器がずらっと並んでいる体育館での朝礼講話でした。音楽会に向けて子どもたちの意欲がとても高まっています。インフルエンザの流行がありますが、子どもたちが精一杯頑張った成果が出せるよう、教職員一同、学習活動を支え続けていきます。

本日は、偉人と呼ばれる人でもしてしまった失敗談から、日頃の自分の言動を省みるための講話を行いました。落五小は普段から子どもが互いに優しさを分け合い、皆で協力して楽しく生活することができている学校です。もちろん、子ども同士の諍いはありますが、すぐに反省して謝ることができる子どもたちです。本講話のとおり、より自己を律し、自分の言動を「堪（こら）える」ことができる子を育てていきたいと思っています。保護者・地域の皆さまのご協力をお願いいたします。



R71110 朝礼講話

「リンカーンの失敗から学ぶこと」

第 16 代 アメリカ合衆国大統領

エイブラハム・リンカーン

(Abraham Lincoln 1809～1865)